



独立行政法人

大学改革支援・学位授与機構

National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education

機構ニュース

Vol.211 2021 January

今月の記事

Top News

- ドイツアクレディテーション協議会（GAC）と覚書を更新 1
- オランダ高等教育国際協力機構（Nuffic）と覚書を更新 2

学位授与事業

短期大学・高等専門学校卒業生等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

短期大学・高等専門学校卒業生等を対象とする単位積み上げ型の学位授与

- 令和2年度10月期申請に係る学位授与試験を実施 3

機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与関係

機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与

- 21人から学位授与の申請
ー修士又は博士相当の課程修了見込者ー
..... 4

評価事業

大学機関別認証評価等について

- 訪問調査の実施 5

機構の窓

- 新型コロナウイルス感染拡大に関連した対応について 6

主要行事日程

- Schedule（2月） 7

TOP NEWS

○ ドイツアクレディテーション協議会（GAC）と覚書を更新

当機構とドイツアクレディテーション協議会（GAC：German Accreditation Council）は、2015年10月に新規に締結した連携協力に関する覚書の5年間の有効期間満了に伴い、2020年12月14日、福田機構長及びGACのGrimm会長の署名をもって、2025年12月までの覚書の更新を行いました。

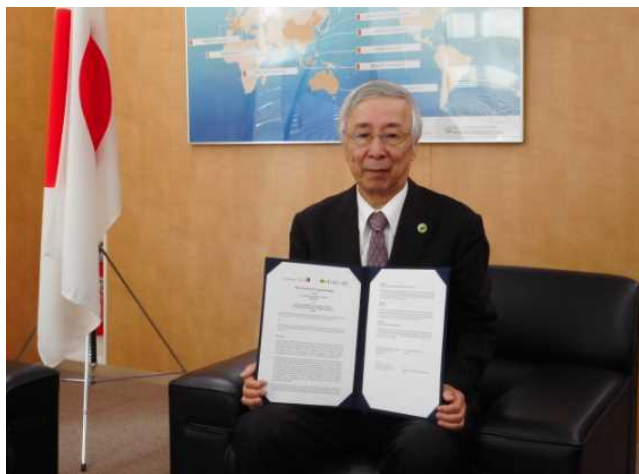
GACは、1999年に設立された、ドイツにおける大学の教育と学修の質保証のためのドイツ諸州の共同機関です。アクレディテーションを実施するのはGACではなく、ドイツ語圏に10ある質保証機関ですが、各質保証機関による評価報告書を基に評価結果の最終決定を行い、大学を認定（アクレディット）するのがGACです。

なお、ドイツでは教育は各州の管轄として、高等教育の質保証制度についても州ごとに定めています。ドイツ全体である程度の統一性を持たせるために定められた規定によると、ドイツには、教育プログラムの定期評価である「プログラム・アクレディテーション」、大学内部の質管理システムの効率性・信頼性を確認する機関別の定期評価である「システム・アクレディテーション」のほか、大学自身が手法等を定める「代替的手続き」があり、大学はいずれかを選択できます。大学が代替的手続きを選択する場合の手法等についてGAC及び州の承認が必要となり、また、アクレディテーションで認定された大学及びプログラムにはGACの認定マークが与えられます。

このように、GACは実際のアクレディテーションを行う機関ではありませんが、評価結果の最終決定や評価手法の承認などアクレディテーションの重要な局面に関わっており、ドイツの大学質保証制度の更なる向上に向けて各州の支援を行うとともに、欧州を中心に質保証における国際連携にも取り組んでいます。

当機構とGACはこれまで、高等教育質保証に関する互いの取り組みについての日常的な情報交換のほか、ドイツや欧州の質保証制度に関する当機構の現地調査等を通じて交流を深めてきました。

今回の覚書更新に基づき、両機関は引き続き、両国の質保証に関する情報交換等を通じ質保証機関としての専門的機能を高めるとともに、高等教育機関への支援の強化に向けて取り組んでいきます。



福田機構長による覚書への署名



Grimm GAC 会長による覚書への署名

○ オランダ高等教育国際協力機構（Nuffic）と覚書を更新

当機構とオランダの高等教育国際協力機構（Nuffic）は、2010年6月に新規締結し、2015年8月に更新した連携協力に関する覚書の有効期間満了に伴い、2020年12月9日、福田機構長及びNuffic事務局長Freddy Weima氏の署名をもって、2025年12月までの覚書の更新を行いました。

Nufficは、高等教育の資格の承認に関する欧州地域規約（通称：リスボン承認規約）等に基づくオランダの国内情報センター（ENIC-NARICセンター）として、外国で取得された学位等の資格の審査や関連事項についての情報提供を行う独立の非営利団体です。近年では、他のENIC-NARICセンターと協働して、資格審査業務のデジタル化の在り方について調査したDigiRecプロジェクトを主導するなど、リスボン承認規約に基づく円滑で公平な資格の承認を支援する取り組みを精力的に行っています。

当機構とNufficはこれまで、高等教育資格の承認に関する互いの取り組みについての日常的な情報交換、当機構の刊行物「[高等教育分野における質保証システムの概要 オランダ（初版、第2版）](#)」作成への協力、[当機構主催「国境を越える学生の学修履歴の取扱い」に関する公開研究会](#)へのNuffic職員の招へい、当機構職員によるNufficへの訪問調査等を行ってきました。

今回の覚書更新に基づき、両機関は引き続き高等教育における資格の承認に関する国際的な協調と透明性の確保に向けて取り組んでいきます。



福田機構長による覚書への署名



Freddy Weima 事務局長による覚書への署名

学位授与事業

短期大学・高等専門学校卒業者等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

○ 令和2年度10月期申請に係る学位授与試験を実施

「大学改革支援・学位授与機構 令和2年度10月期学位授与試験」として、令和2年12月6日（日）に面接試験を東京で、また、12月13日（日）に小論文試験（東京・大阪）を実施しました。

試験の実施状況は次のとおりです。

	（面接試験）	（小論文試験）
（1）受験予定者数	81人	517人 ※
（2）受験者数	81人	500人 ※
（3）欠席者数	0人	17人
（4）受験率	100%	96.7%

※小論文試験の受験予定者数及び受験者数には、令和2年12月14日（月）に実施した、特別措置受験者1人および令和3年1月8日（金）に実施した、追試験受験者1人を含む。

今後、各専門委員会・部会における修得単位の審査及び学修成果・試験の審査を経て、令和3年2月19日（金）開催の学位審査会で最終審査が行われ、合格者には学士の学位を授与する予定です。

機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与関係

○ 21人から学位授与の申請—修士又は博士相当の課程修了見込者—

大学院に相当する教育を行う課程として認定されている各省庁大学校の令和3年3月修了見込者21人（修士課程相当15人、博士課程相当6人）から、学位授与の申請がありました。

今後、各専門委員会・部会における論文の審査及び試験（口述）を経て学位審査会で最終審査が行われ、合格者にはそれぞれ修士又は博士の学位が授与される予定です。

<修士及び博士の学位授与申請者数>

認 定 課 程 名	学位（専攻分野）	申請者数 （人）
防衛大学校 理工学研究科（前期課程）	修士（工学）	3
防衛大学校 理工学研究科（後期課程）	博士（工学）	3
防衛大学校 総合安全保障研究科（前期課程）	修士（安全保障学）	8
防衛大学校 総合安全保障研究科（後期課程）	博士（安全保障学）	2
水産大学校 水産学研究科	修士（水産学）	2
国立看護大学校 研究課程部看護学研究科 （前期課程）	修士（看護学）	2
国立看護大学校 研究課程部看護学研究科 （後期課程）	博士（看護学）	1
合 計		21

評価事業

大学機関別認証評価等について

○ 訪問調査の実施

令和2年12月、大学、高等専門学校及び法科大学院の評価対象校に対し、書面調査で確認できなかった事項等を中心に、対象校関係者との面談、教育現場の視察及び学習環境の状況調査等により対象校の状況を調査すること等を目的とした訪問調査を実施しました。

なお、今年度は新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大防止のため、ウェブ会議システムを活用し実施しました。

今後は、書面調査の結果に訪問調査で得られた知見を加えて総合的に判断し、評価結果の取りまとめを行います。



ウェブ会議システムを活用した訪問調査の様子

機構の窓

○ 新型コロナウイルス感染拡大に関連した対応について

当機構では新型コロナウイルス感染拡大の状況に鑑み、政府により決定された「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」を踏まえて令和2年12月に予定されていた機構主催の行事について、以下のとおり対応を行いました。

12月

開催予定日	行事名	対応	担当課
1日～24日	機関別認証評価訪問調査および法科大学院認証評価訪問調査	ウェブ開催	評価支援課

主要行事日程

○ Schedule

2月

日	行事名	担当課
19 日	学位審査会（令和2年度第4回）	学位審査課
26 日	学位記伝達式・講評	学位審査課



独立行政法人

大学改革支援・学位授与機構

National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education

